

SDGs 達成に向けた取組み

① 園庭を食べられる庭だけではなく、着られる庭にも。② 紙を遊ぶ。



目的・背景

【目的】

「持続可能な社会の実現に向けて、子どもたちの心を育てる」です。令和5年度は、特に「子どもの身近なモノを作ってみて、大切に使う」という心や作ってくれた人へ感謝の心を育てる。を目的に取り組みました。

【背景】

令和5年3月のエディブルガーデンについての園内研修の時、保育士から「令和5年度は、綿花を育てたい。藍染をしてみたい。」という希望が出されたことから、園庭で「食」だけでなく、「衣」についても考えてみようということになりました。また、連携している愛媛大学の先生より、学会で使用するネームプレートの作成を依頼されたことから、児童クラブの子どもたちが廃材を利用して試行錯誤して紙でネームプレートを作成するなどしました。

具体的な取組内容

【工】エディブルガーデン 【紙】紙作り

【草】草木染め 【他】その他

令和5年1月

○小林修先生

3月

【工】笠松・島上先生 園内研修「エディブルガーデンについて」

4・5月

【工】【草】綿花と藍の種を蒔く。トマト、ピーマン、トウモロコシ、バジル、イタリアンパセリ、アスパラガス、スイカ、メロン、キュウリの種を蒔き、苗を育てる。

【工】ジャガイモを植える。

6月

【工】さくらバザーで苗を安価で販売。子どもたちのSDGs活動について展示・説明

7月

【紙】ヨモギ・アサガオ・カボチャの花・トマトの皮等を牛乳パックの紙に練りこみ、紙の試作を開始

8月

【草】綿を収穫・藍の葉を収穫

【工】夏野菜を収穫

【工】収穫したナス・ピーマン・ジャガイモ・トマト・バジルをトッピングしてピザを作って食べる。

【工】パズルやイタリアンパセリは、保護者に自由に採ってくださると伝える。

【紙】手漉きの紙をはがきにして家族に気持ちを伝えたり、夏まつりでスーパーボールすくい紙をこぼろを入れて漉いた紙でしてみたりする。

【紙】紙について「えひめ洋紙」の社長をお招きし、「紙について知ってる?」と題してお話を開催

9・10月

【紙】紙漉きをする（ミカンの皮・ミカンの葉・ナツメヤシの葉）。

【他】伊予農業高校の果樹園でミカンの収穫作業

11月

【紙】紙漉きをする（オリーブの葉・クスの落ち葉・ビワの葉）。ネームプレートに加工し、1日試しに付けて耐久性を調べる。

【紙】ネームプレートは学会で使用され、優しい風合いと色で好評であった。

【草】4歳児クラスでタマネギの皮・ミカンの皮・ビワの葉でTシャツを染める。

12月

【紙】残りの紙で小物を製作、SDGsクリスマスマーケットで販売

【草】草木染めのTシャツをクリスマス発表会の劇遊びの衣装にする。



【紙漉きについて】

ネームプレートを何で作るか。紙かプラスチックか。

夏休みには、アイスクリームの入れ物で時計盤を作ろうとして、うまくいかなかったので、園にたくさんある牛乳パックの紙に、給食室から出る野菜や果物の皮、園庭で育てている木や野菜やハーブの中で、子どもたちが入れたいものを入れて紙漉きをして、ネームプレートを作ることになりました。

7月から11月まで、やりたいときにやりたい子どもが漉き続け、11月には約300枚のネームプレートができ上がりました。

牛乳パックや野菜や木の葉や果物の皮のアップサイクルになり、充実感を子どもたちと共有できました。

残った紙で、コサージュや手漉き紙のランプシェードを作り、SDGsクリスマスマーケットに出店しました。SDGsに関わる大人や学生と交流が持て、子どもたちにとってかけがえのない経験になりました。



ミキサーにニンジンの皮と牛乳パックの紙と水を投入



ランプシェードとコサージュ

【ミカンの収穫作業】

年長組の子どもたちと伊予農業高校の伊予灘を望む果樹園でミカンの収穫をしました。美しい空のもと、高校生に寄り添われ、ミカンを収穫している姿、子どもたちの幸せそうな、真剣な表情。「おいしい、おいしい!」と言ってミカンをほおぼる顔。これが私たちの目指すウェルビーイングだと思いました。



ミカンの収穫作業の様子

【成果】

子どもたちや保育者が色々発見したり、五感で感じたりできたことです。イタリアンパセリにはキアゲハの幼虫が、ミカンにはアゲハの幼虫、綿花にはハマキムシがつき、チョウセンカマキリが何日間も綿花を守っていたこと。藍とアスパラガスにはムシがつかなかったことに気づきました。

紙漉きや草木染めでは、いい匂いや変な匂いがするものがあることなど、子どもたちが見て、匂って、触れて、感じて、五感を働かせることができたことが成果でした。綿花には種がたくさん入っていること、種を取るのは大変なことも体験しました。また、服を作るのにどんなに手間がかかっているか伝えることができました。



キアゲハのさなぎ



チョウセンカマキリ

担当者の思い

SDGsに取り組む仲間との情報交換により、取り組む新たなことが見つかったり意欲が生まれたりしました。遊びの中で子どもたちと楽しく取り組むことができました。
〈園長 桑波田 みか〉